

## 会議録

会議の名称	令和２年度 第９回座間市地域包括ケア会議		
開催日時	令和 ２年１２月８日（火） 午前１０時００分～１１時３０分		
開催場所	座間市役所３階３－１会議室		
出席者	越山委員、落合委員、高間委員、川南委員、後藤委員、松永委員、平原委員、金子委員、宮田委員、林係長（生活援護課）		
事務局	健康部介護保険課 板倉主事、宮下主事、植野主事補、小林社会福祉士		
会議の公開可否	□公開 □一部公開 ■非公開	傍聴者数	０人
非公開又は一部公開とした理由	座間市地域包括ケア会議開催要綱第６条に該当するため		
議題	１．今後の課題について（災害・防災について） ２．令和３年度のあんしん自分登録事業の全市実施に向けて（事務局より）		
資料の名称	１．座間市あんしん自分登録事業 モデル事業 地域包括支援センター事務マニュアル（令和２年１２月暫定版）		
会議の結果			
議題１	防災マップのリニューアルを機に各包括の圏域で災害・防災に関する講座や研修などを開催。早期発見見守りネットに準ずる人たちへ周知を図っていく。		
課題２	令和３年度のあんしん自分登録事業の全市実施に向けて、栗原、相武台、新田宿包括より12/24までに調査票の提出を依頼。		
議事の概要			
事務局	令和2年度 第9回座間市地域包括会議を開催する。		
	議題１について		
委員	前回の会議で一般の方への周知が課題となっている。親会議で周知した後、意見が出ない場合、どんな感じになるか分からない。		
委員	先日の子会議で我々も今まで知らない色んなことが分かった。その情報を周知していかないといけないというところで検討を進めていけばいいのではないか。		
委員	一般の方に周知するということで、ケアマネ向けに防災や災害について研修をやるという話があった。そこに絡まってくる内容かと。今回、包括		

	<p>で危機管理課との意見交換をしたところである。ケアマネや、その他、周知した方がいい機関で防災について実情を聞く機会を作ればいいのではないか。今年度中には新しく作成した防災マップができるという話があるため説明会等も必要ではないか。どのように進めていくのかよく分からないところである。</p>
委員	<p>10月の会議の最後に、親会議に提案することと、自治会から危機管理課に都度、相談、または研修会をお願いするといったことを普及啓発していくことも大事ではないかという話で終わったような記憶がある。</p> <p>9月8日の子会議の際、新たな課題の抽出で、8050は、とりあえずゴールとなる。今年度は防災を課題にということで、まず管理課職員に現状や対応の話をしてもらおうというところまでである。</p>
委員	<p>今年度、災害、防災のことに関し、どのように考え話し合っていくかということを決めなければならない。ここに居るメンバーが危機管理課から話を聞いたのは良かったが自治会等もっと地域に近い人に知ってもらうことは必要ではないか。</p>
委員	<p>それは危機管理課の方でやってもらうことで、私たちは危機管理課の話を聞き、今後の防災について新たな課題というところで話をする必要があるのではないか。皆さんからご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>地域に広めていくのは必要ではないか。ちょうど今年度、防災マップを新しくするとの話がある。例えば、そのタイミングで各包括の圏域で防災についての研修会を開くのはどうか。集めるメンバーは、早期発見見守りネットワークに準ずる自治会や民生委員、介護保険事業所の方。名簿があるため現実的に行いやすいのではないか。新田宿地域と相武台地域とで防災の兼ね合いが全く異なるように、その地域ごとによって対応は異なってくる。そのため各圏域ごとでやっていくのがよいのではないか。全体でやると、人数が多くなる。まずは我々が前会議で聞いたことで皆が知らないところの話を周知できるようにすることを第一歩とし、防災マップが新しくなったことを機に各圏域で各包括が企画し必ず行う。来年度に渡り行っていくようになるのではないか。</p>
委員	<p>例えば来年度頭とか早い時期ということか。</p>
委員	<p>ホットな話題のため早い方がよいが、それは各々の包括でよいのではないか。</p>
委員	<p>防災マップの発行のタイミングを見ながらになると思われる。いかがか。</p>
委員	<p>タイミング的によいキッカケにもなるし、各包括のノウハウの中で苦にな</p>

	くやれることなのではないか。地域のためになることであれば、とてもよい提案ではないか。
委員	ただ、50名ぐらいの集まりが見込まれる。コロナ禍で50名というのはどうなのか。あまり制限をかけると、それはそれであまりよくないのではと危惧される。
委員	社協や市で50名規模の講座などを開いたか。地域ケア会議の親会議で何名であったのか。
事務局	親会議は25、6名。
委員	11月に社協と一緒に相模中学校の体育館を借りて、地域住民セミナーを開いたが何名であったのか。
委員	スタッフを合わせたら50名程度である。
委員	しかし体育館で行い広さがある。50名程度、集まるということであれば会場の問題が出てくる。
事務局	ハーモニーホールは一時期、通常の数より減らしての開催となり、10月11月に解除されたが、また制限をかけるようにしている。市の方もそこら辺の対応は考えている。
委員	正直、6圏域の中で毎回毎回土曜に、ひざ下まで浸かるというようなことをしているため地域住民に向けては一番やらなければならないと考えている。まずは自治会と危機管理課で全戸配布し終わった後、どこかで研修を検討してもらい、そこに乗るという形でもよいか。新田宿、四ツ谷エリア、座間エリアの方は意識が高いため、そういうものがあれば出てくるのではないかな。
委員	一方通行ではなく、危機管理課と地域の方たちと自分の地域について、キャッチボールができるくらいの会合ができるとよいのではないかな。それができるのは圏域で分かれて各々で開催していくというのが一番ではないかな。
委員	包括の方で企画する形になるのか、危機管理課が主導的に自治会向けに行い、そこに包括が乗る形になるのか、やり方は色々ある。
委員	主導として包括がやっていかないと無理なのではないかな。地域ケア会議の一つの試みとして実践という中でやるべきではないかな。
委員	例えば包括で案内をかけ、実際、危機管理課に説明してもらおう。質問は事前に考えた上で臨んでもらえばよいのではないかな。
委員	もしくは最初に聞いておく。そうすることで危機管理課も答えの準備ができるのではないかな。そういう方向性でいかがか。介護保険課が危機管理課

	と話し合い、リニューアルするマップの配布時期をケア会議で再度、返していただければ、それに合わせて各包括でも考えていく。実際にマップができたら各包括で講座を開き、次のステップは、その反応をみてということによいのではないか。できることからやれるということであれば、よいのではないか。
委員	その時のコロナ感染の状況を見てあくまでも目標というところでよいのではないか。場所の確保問題が出てくるがエリアでやらないと意味がないのではないか。
委員	車で来れるようなところであればよいのではないか。場所は、一括してハーモニーホールでやるとか。予約は介護保険課に協力していただく。後は、他に大きな会場が取れるようなところがあるのであればよいのではないか。
委員	サニープレイスでもよいのではないか。
委員	多目的室でもそれなりのディスタンスを取りながらの講座ができるのではないか。
委員	場所は圏域にこだわらないということによいか。
委員	感染拡大を防ぐためにスペースが取れる場所を優先していくということによいのではないか。
委員	流れとしては、新しいマップの配布後、来年度に向けて包括の圏域ごとに防災に関する講座や研修などの会を企画する。参加メンバーは早期発見見守りネットワークの名簿を活用していく。場所に関しては、圏域にこだわるよりは、広くとれる場所を重視し、気軽に話が聞けるような会にする工夫は必要といったところである。
委員	まずは危機管理課に防災マップの進捗情報を聞いていただければありがたい。そのスケジュールに伴い我々も動いていけばよいのではないか。
委員	こういうことを包括で企画するとなると、危機管理課の協力も必要となるため、事前に話を通しておいてもらわないといけないのではないか。
委員	6回は来てもらうこととなる。
事務局	危機管理課に職員を借りる際、50人規模に対し何人必要か等、具体的にどのようにしたらよいかといったところを聞かれるのではないか。あくまでも危機管理課はゲストとして来てもらうということによろしいか。
委員	前会議での話を6回してもらえればよい。質疑応答は、あらかじめ出欠表に書いてもらったものを吸い上げて危機管理課に渡す。その質疑に対する答えは準備してもらわないといけない。

事務局	来月の会議で報告出来るような形で調整をしていく。
委員	そこが分かれば、こちら動きが取りやすい。災害、防災については、方向性が固まった。まず周知のところをやっていくため研修、または講習会を包括ごとで企画してくというところである。その後については、反応を見ながら考えていく。
委員	9月の会議の際、救急キットに担当ケアマネを表示するとの提案が出ていたが、この話は提案で終わったのか。
委員	救急キットのひな形そのものを変えるという話も出ている。
委員	ひな型は、市で考えている訳ではなく、作っているところで決まっているようである。確認する。
委員	名簿には担当ケアマネを記載する欄がない。活用方法に関しても上手く活用できていないという現状での話が出ていた。
委員	ケアマネ側がどう思うかということも考える必要があるため、ここだけで決めることではないのではないか。
委員	救急医療キットは一年に一回、中の情報を入れ替えるようアナウンスはしている。実際、入れ替えを行っているかどうかは別の話ではあるが。
委員	要援護者名簿については、ぼんやりとした話だった。
委員	要援護者名簿についてもどんな風にしていきたいか等、確認いただきたい。
委員	自治会ごとで皆、反応が違うため進んでいない印象を受けている。
委員	受け取りを拒否している自治会もあると聞いている。直接、担当ではないので確認しないと分からないところはある。
委員	今、そのリストはどうなっているのか。
委員	毎年更新し、渡せるところには渡している。登録した人の情報については、自治会や民生委員に配布はしている。
委員	元々のフォーマットがどんな感じなのかが思い浮かばない。
委員	ケアマネや包括の了解も取る必要がある。変更が出来るかどうか。
委員	入りたい情報としては、担当ケアマネの情報になるのか。
委員	9月の会議では、救急キットに担当ケアマネを赤字で書くことを提案するとある。考えてみれば担当ケアマネが付いていたら救急隊はどうであれ、病院に入院した際、必ず入退院時に連絡がくる。救急隊が知るためだけの情報ということになる。要るか要らないかということであれば要らないのではないか。
委員	緊急連絡先については、救急隊が受け入れのところで必要な情報である。

	<p>入院してから退院の話の際に、担当ケアマネの情報が必要になるのではないか。</p>
委員	<p>それならば救急キットには要らない。9月の会議では、そんな話が提案で出ていたがケアマネに確認する必要はないのではないか。</p>
委員	<p>担当ケアマネが書いてあるメリットの有無、もしくは実務的に今一度考えるならば、なくてもよいのではないかという話である。ということで災害、防災については、過去の議題についても触れた上で終了とし、議題3というところで事務局へ戻す。</p>
事務局	<p>議題2について</p> <p>資料1より来年度、あんしん自分登録事業の全市実施するための事務的な手続きについて、説明及び報告。</p> <p>今実施されている3包括については、このまま継続実施していただく。新たに実施いただく3包括には、これから準備していくものとして申込書、事務マニュアル、登録者カード、マグネット、パンフレットのチラシ、これらについて調整をさせていただく。パンフレット、チラシ、マグネットのデザインについては、ある程度、各包括で考えていることを取り込んでいる。これらについて具体的な話をさせていただく担当者等を資料にある「調整表」で報告いただけるとありがたい。暫定版マニュアルが現時点で、各包括に使っていただくマニュアルということになっているが、来年の全市実施の時には、全体を統一したマニュアルを配布できるよう考えている。あんしん自分登録について、登録者に何かあった場合に包括が連絡するということだけが先行してしまっている。安否確認であるとか災害者の情報を伝達するものと捉えがちであるが、そうではなく65才以上の元気な方が各包括と顔の見える関係を作っていただきたい。そのためのツールとして使っていただく。プラス、あなたに何かあった時に包括が代わりに連絡することがあるということが付いているということである。連絡する方が主ではないということに気を付けて欲しい。なるべく救急キットも一緒に案内して欲しいということをお願いをしている。あんしん自分登録自体は、包括が開所している時間だけであるため、夜間、祭日については、救急キットで少しでもカバーしたいという考えがある。もう一つは、一年に一回、あんしん自分登録の更新をする際に救急キットの更新もしていただきたいということである。それが出来ると先ほどの話に出た担当ケアマネの記載ということも生きてくる可能性がある。小さい登録者カードは、</p>

	<p>携帯用のカードとなる。この部分については、各包括で違うということではなく、おおよそ、このデザインでやらせてもらいたい。別紙資料の「突然のアクシデント その時あなたは！？」については、救急車はどのように呼んだらいいか？救急車を呼んだのに消防車が来た等、一般市民が一番心配となる話をさせていただく。救急車が到着してから高齢者を病院に運ぶまでに相当な時間かかっている理由として、付き添いが無い、高齢で一人、連絡が取れる家族が不明との話がある。あんしん自分登録が広く周知され包括と市が繋がっている方であれば、情報提供を求めることが出来、安心してスムーズに病院への収容に繋げるという目標がある。周知の方法については、各包括へ任せる形で実施している。来年度予算で、すぐに執行という形となっているがマグネットを作る側の会社もコロナの影響があり納入に時間がかかっている。4月に入りマグネットの発注作業に入ると一ヵ月以上かかってしまうため、全市実施開始の予定を6月頃と考えている。出来ればマグネットと携帯カードは前倒しで作成し早めの実施をお願いしたい。今年度については、民選委員、民児協にあんしん自分登録を進めてくださいというお願いはしていない。あんしん自分登録の説明のみさせていただいている。来年度、全市実施に向けては、協力をお願いするというような形で進めていきたい。おおよそ資料にあるスケジュールで始めたいというのが私の考えで、今度、実施する包括については、担当者レベルで話をさせていただきたい。私の方から担当者へデータを送らせていただくため12月24日までに、報告をいただきたい。何か質問があるか。</p>
委員	<p>あんしん自分登録をしている方が住所表記で分かれたことにより、あんしん自分登録未実施の包括エリアへ変更となったり、その逆の方たちへ説明等の対応については何かあるか。</p>
委員	<p>住居表記で、あんしん自分登録未実施地域から実施地域へ来られた方に対する説明やお知らせはしていない。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
委員	<p>マグネットについては、救急キットにもマグネットがあるため混乱しやすいのではないか。</p>
事務局	<p>確かに両方持つと丸い救急キットのマグネットと四角いあんしん自分登録のマグネットと2つ冷蔵庫に張り付ける形になるため分かりにくくなる可能性はある。今のところ、これを一つにするという話はないため別々ということにはなってしまう。あんしん自分登録の説明をし、登録はしないけれど救急キットだけという方もそれはそれでよいと考えている。</p>

委員	費用も含め勿体ないように思うが。
事務局	ご意見の通り一緒に出来ればよいが、福祉部、健康部と部が違うというところがネックとなる。なるべく分かりやすく調整していければよいが、今のところは別々になっている。
事務局	他に何かあるか。よろしければ以上をもって地域包括ケア会議閉会とする。
<p>【次回】座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会</p> <p>日時：令和３年１月１２日（火）１０時００分～</p> <p>場所：市役所３階３－１会議室</p>	